

| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成28年 4月 1日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ

五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |   |
|--------|---|
| 期日     | 平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日   |
| 参加者氏名  | 佐藤 博幸   |
| 場所・会場  | 新潟市北区島見町1398番地<br>新潟医療福祉大学大学院   |
| 内容(目的) | 博士後期課程 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻<br>地域・国際保健福祉学<br>地域・国際保健福祉学特殊講義<br>地域・国際保健福祉学特殊研究 |
| 交通手段   | 自家用車・JR・飛行機・レンタカー   |
| 行程     | 鶴岡市・・・新潟医療福祉大学キャンパス・・・鶴岡市   |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
自家用車を利用した場合は、「車賃(ガソリン代)内訳書」を提出して下さい。



|   |     |    |    |    |    |     |    |
|---|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 係 | 専門員 | 係長 | 主査 | 主幹 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|   |     |    |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成29年 4月 3日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ

五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|                |  |
|----------------|--|
| 期 日            | 平成28年 4月1日 ~ 平成29年 3月31日   |
| 参加者氏名          | 佐藤 博幸  |
| 場所・会場          | 新潟市北区島見町1398番地<br>新潟医療福祉大学   |
| 内容(目的)         | 大学院 博士後期課程 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻<br>地域・国際保健福祉学<br>地域・国際保健福祉学特殊講義<br>地域・国際保健福祉学特殊研究  |
| 調査・研修<br>の 概 要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域・国際保健福祉学特殊講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の概要<br/>地域・国際保健福祉学の専門領域について学ぶ。専門領域は社会福祉学である。</li> <li>・ 授業の目的<br/>社会福祉学について講義で知識を習得する。</li> <li>・ 学習目標<br/>主に人間集団を対象とした基礎研究から応用研究、政策研究の方法論を知る。</li> </ul> </li> <li>○ 地域・国際保健福祉学特殊研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の概要<br/>地域・国際保健福祉学特殊講義において学んだ理論と解析方法から、さらに科学的思考力と応用力を高め研究を行う。</li> <li>・ 授業の目的<br/>博士論文作成を目的とする。</li> <li>・ 学習目標<br/>研究分野に関する広範かつ高度な知識を基に、学術的に独自性、先駆性のある研究目的を設定する。研究目的を達成するための研究計画を高い水準で作成する。研究計画に従って実験、調査等を行う。(データ収集、分析、評価)</li> </ul> </li> </ul> |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



|    |       |    |    |    |    |     |    |
|----|-------|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主任専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |       |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成 28年 5月 9日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ

団長 五十嵐庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |  |
|--------|--|
| 期 日    | 平成 28年 5月 12日 ～ 平成 28年 5月 13日  |
| 参加者氏名  | 尾形昌彦、菅原一浩、五十嵐一彦、小野寺佳克<br>本間新兵衛   |
| 場所・会場  | 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール  |
| 内容(目的) | 12日：「地方議会人の挑戦—議会改革の実績と課題—」<br>「国民国家の権限と地方分権」<br>「新たな地方づくり～森里川海と住民・議会・自治体」<br>「福祉でまちおこしを～国と連携する保育・医療・介護」<br>13日：「地方自治の課題と再生」<br>「地方財政の現状と将来」<br>「地方創生を考える～地方創生のあり方」 |
| 交通手段   | 自家用車・飛行機・電車・タクシー   |
| 行 程    | 《12日》<br>鶴岡駅→東京駅→御茶ノ水駅→明治大学→ホテル<br>《13日》<br>ホテル→明治大学→東京駅→鶴岡駅   |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 係 | 係 | 長 | 主 | 査 | 主 | 幹 | 局 | 長 | 副 | 議 | 長 | 議 | 長 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

様式第13号

平成29年4月28日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|          |  |
|----------|--|
| 期日       | 平成28年5月12日 ~ 平成28年5月13日  |
| 参加者氏名    | 本間新兵衛・小野寺佳克・五十嵐一彦・尾形昌彦・菅原一浩  |
| 場所・会場    | 東京都千代田区神田駿河台<br>明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール  |
| 内容(目的)   | 2016年度日本自治創造学会研究大会<br>地方が創る日本の未来 ~議会・住民・自治~<br>上記研究大会への参加・研修   |
| 調査・研修の概要 | <p>財団法人日本自治創造学会研究大会に参加し、国が直面する多様な問題について、地方がどのような役割を担い、全体としての活性化に資することができるかについて、下記の講演を聴講すると共に、全国の同様な立場の地方議員と意見交換を行った。</p> <p>1.地方議会の挑戦 2.国民国家の権限と地方分権 3.森・里・川・海と住民・議会・自治体 4.国と連携する保育・医療・介護の取組 5.地方自治の課題と再生 6.地方財政の現状と将来 7.地方創生のあり方 8.地方創生のとらえ方とその成果 ※資料は参加個人が各自所有</p> <p>地方自治に精通した学会理事である大学教授や国の幹部官僚等による講演は、国が直面する問題に対し、地方が主体的にその解決に繋げることができる施策を紹介・提起する内容であり、今後の議員活動にとって非常に有益な研究大会であった。</p> |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



|    |    |     |    |    |    |    |     |    |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成28年5月26日

鶴岡市議会議員 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ  
五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 期 日    | 平成28年5月27日 ~ 平成 年 月 日       |
| 参加者氏名  | 五十嵐 庄一                      |
| 場所・会場  | 新潟県新発田市新潟県立リウマチセンター         |
| 内容(目的) | 県立リウマチセンターの概要・診療内容調査        |
| 交通手段   | 自家用車・JR・飛行機・レンタカー           |
| 行 程    | 自宅 - 新潟県新発田市県立リウマチセンター - 自宅 |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。

自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



|   |     |    |    |    |    |     |    |
|---|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 係 | 専門員 | 係長 | 主査 | 主幹 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|   |     |    |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成29年4月28日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ  
 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|          |  |
|----------|--|
| 期 日      | 平成28年5月27日 ~ 平成 年 月 日  |
| 参加者氏名    | 五十嵐 庄一   |
| 場所・会場    | 新潟県新発田市新潟県立リウマチセンター  |
| 内容(目的)   | 県立リウマチセンターの概要・診療内容調査   |
| 調査・研修の概要 | 多くの市民よりリウマチ行政にかゝる荘内病院<br>内での患者ニーズに対応不可能な現状の訴<br>声に、リウマチ専門病院である新潟県立<br>リウマチセンターに訪問 病院の概要 診療・治療<br>内容の説明・聞き取り調査。 |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



|    |    |    |    |    |    |     |    |
|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主査 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |    |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成28年6月22日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）  
 新政クラブ  
 五ヶ嶺 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |   |
|--------|---|
| 期 日    | 平成28年8月4日（木） ～ 平成28年8月5日（金）   |
| 参加者氏名  | 尾形昌彦  |
| 場所・会場  | 京都府京都市左京区聖護院川原町4-15 京都教育文化センター  |
| 内容(目的) | 第15回地方議会議員研修会に出席するため  |
| 交通手段   | 自家用車・JR 飛行機・レンタカー   |
| 行 程    | 鶴岡市…京都教育文化センター（京都泊）…鶴岡市<br>(参考：費用見込)<br>参加費 25,000円<br>航空運賃 48,860円 (24,480円+24,380円)<br>宿泊費 7,000円 |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



|    |    |     |    |    |    |    |     |    |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主査 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成28年8月10日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ

五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|          |   |
|----------|---|
| 期 日      | 平成28年8月4日（木） ～ 平成28年8月5日（金）   |
| 参加者氏名    | 尾形 昌彦   |
| 場所・会場    | 京都府京都市 京都教育文化センター   |
| 内容(目的)   | 第15回地方議会議員研修会出席<br>1日目 ①地域の活性化と行政の役割、公契約条例<br>②日本初の自治体による電力売買事業会社の取り組み<br>2日目 田園回帰1%戦略  |
| 調査・研修の概要 | 1日目の前半は野田市前市長である根本崇氏より公契約条例についての講演を頂いた。野田市は2010年に全国に先駆けて公契約条例を制定した。その背景に、その時期、公共工事の現場では縮小政策に不況が重なり、また業務委託、指定管理の現場では低価格落札が繰り返されるなどを通じ、「官製ワーキングプア」という状況が生まれ、長い目で見ると工事の質の保障や公共サービスの質の維持ができない状況となり、国が動かない中で、野田市が先行して公契約条例を定めたとのことだった。今は人員不足等の理由により単価も以前に比べると上がっているが、仕事が減ればまた二省単価も下がる可能性があり、引き続き公契約法による担保が必要とのことであった。鶴岡市の現状を確認して、公契約条例が必要かどうかなど議論をしていく必要があると感じた。 |





続いて1日目の後半は福岡県みやま市環境経済部エネルギー政策課 係長 渡邊満昭氏よりみやま市の地域新電力会社「みやまスマートエネルギー(株)」設立の経緯、準備、現状などについて講義を受けた。設立目的はエネルギーの地産地消、市内で雇用を増やすこと、住んで良かったと思えるまちにすることであり、2015年から市が設置した1500世帯分をまかなえるメガソーラーや市民から買い取った電気などを市の公共施設36、民間の施設46の計82か所、一般家庭には350世帯に提供しているとのことだった。

特徴的な点は各契約家庭にタブレット端末を配布し、HEMSという仕組みで家の中の電気の見える化を行うことにより省エネにつなげるとともに、電気の使い方が普段と違うことを検知した場合に見守りセンターから、近所の方や民生委員に声をかけてもらうなどの見守りサービスを組み合わせているところであった。

2日目は島根県中山間地域研究センター研究統括監である藤山浩氏より、田園回帰1%戦略について3部に分けて講演を頂いた。

市全体の人口ビジョンも必要だが、各小学校区単位ぐらいで地域別にコーホート変化率法を用いた人口分析を行い、どのくらいの移住を受け入れていけば人口減少と高齢化に歯止めがかけられるかについて具体的な対策を行っていくことの必要性や、地域外にお金を流出させないで、その地域内での取れるものを、その地域内で循環させることで、地域経済の中で所得が循環するということの大切さについて学んだ。またそれを実際にどのような体制で行うかについて他地域の具体例などを教えて頂いた。

鶴岡市でも地域別に人口推移について分析を行い、各地域が具体的に戦略を持って人口減少に立ち向かう必要があるのではないかと強く感じた

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃(ガソリン代)内訳書」を提出して下さい。

|    |    |     |    |    |    |    |     |    |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成28年11月8日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ  
本間 新兵衛

団長 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |  |
|--------|--|
| 期 日    | 平成28年11月 / 日 ~ 平成28年11月 / 日  |
| 参加者氏名  | 本間 新兵衛   |
| 場所・会場  | 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3<br>TKP 仙台カンパレンスセンター   |
| 内容(目的) | 地方議員研究会主催の研修会に出席し、<br>「公共施設マネジメント1, 2」を学ぶため。   |
| 交通手段   | 自家用車・JR・飛行機・レンタカー  |
| 行 程    | (行き)<br>鶴岡市 → 山形自動車道 → 東北自動車道 → TKP仙台カンパレンスセンター<br>山五川(自宅)<br>(帰り)<br>東北自動車道 → 山形自動車道 → 鶴岡市山五川(自宅) |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。

自家用車を利用した場合は、「車賃(ガソリン代)内訳書」を提出して下さい。



|   |     |    |    |    |    |     |    |
|---|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 係 | 専門員 | 係長 | 主査 | 主幹 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|   |     |    |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成29年4月28日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ  
本間 新兵衛

団長 五十嵐 庄

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|                |  |
|----------------|--|
| 期 日            | 平成28年11月 / 日 ~ 平成28年11月 / 日  |
| 参加者氏名          | 本間 新兵衛   |
| 場所・会場          | 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3<br>TKP 仙台カンファレンスセンター  |
| 内容(目的)         | 地方議員研究会主催の研修会に出席し<br>「公共施設マネジメント1, 2」を学ぶため。  |
| 調査・研修<br>の 概 要 | 東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授であり、<br>三重県政策アドバイザー、さいたま市公共施設再配置<br>検討委員、鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員等を<br>なされている南学先生より) 講義を受けた。<br>(内容)<br>・公共施設マネジメントの論点として<br>1. 機能重視の複合化 2. 施設本体の評価手法<br>3. 企業会計の導入 4. 包括的管理<br>として、これらを企画、管理するコア機能の必要性を<br>学んだ。<br>又、固定資産台帳を整備し上下、1. 効率的管理運営<br>2. 適正な受益者負担、3. 学校等の統合、4. 資産の活用、売却<br>を進めよとの必要性や課題について学んだ。 |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



|    |    |     |    |    |    |    |     |    |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成 28 年 11 月 15 日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)  
 新政クラブ  
 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 期 日    | 平成 28 年 11 月 16 日 ~ 平成 年 月 日       |
| 参加者氏名  | 浪谷 耕一                              |
| 場所・会場  | 新潟県新発田市 新潟県立リウマチセンター               |
| 内容(目的) | リウマチ治療における 鶴岡市・庄内 における 患者数と治療の実態調査 |
| 交通手段   | 自家用車・JR・飛行機・レンタカー                  |
| 行 程    | 自宅 - 新潟県新発田市 県立リウマチセンター - 自宅       |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。

自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



|   |     |   |    |    |    |     |    |
|---|-----|---|----|----|----|-----|----|
| 係 | 専門員 | 係 | 主査 | 主幹 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|   |     |   |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成29年4月28日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ  
五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|                |   |
|----------------|---|
| 期 日            | 平成28年11月16日 ~ 平成 年 月 日  |
| 参加者氏名          | 五十嵐 庄一  |
| 場所・会場          | 新潟県新潟市新潟県立リウマチセンター  |
| 内容(目的)         | リウマチ治療における 鶴岡市・庄内・おん県内地域別<br>看者数とその治療の実態調査  |
| 調査・研修<br>の 概 要 | 鶴岡市・庄内全体・おん県内より多くのリウマチ患者が<br>診療・治療に治療費・入院費・交通費<br>と交通手段の不便の中で通院している人が多く<br>いとの相談(冬期交通不安等)あり。<br>その患者数や費用等々の実態把握調査<br>※しかし個人情報の為細部至る説明は<br>入らず 鶴岡・庄内より長期に渡り非常に多いとの解答のみ!! |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃(ガソリン代)内訳書」を提出して下さい。



| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成 29年 1月 17日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ  
五ヶ塚 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |  |
|--------|--|
| 期 日    | 平成29年 1月 18日 ~ 平成 年 月 日                            |
| 参加者氏名  | 五ヶ塚 耕一   |
| 場所・会場  | 新潟県新発田市新潟県立リウマチセンター                                |
| 内容(目的) | 協力病院「サテライトクリニック体制」にこの<br>荘内病院の可能性について調査(仮設治療等の可能性) |
| 交通手段   | 自家用車・JR・飛行機・レンタカー                                  |
| 行 程    | 自宅-新潟県新発田市県立リウマチセンター-自宅                            |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。

自家用車を利用した場合は、「車賃(ガソリン代)内訳書」を提出して下さい。



|   |     |   |    |    |    |     |    |
|---|-----|---|----|----|----|-----|----|
| 係 | 専門員 | 係 | 主査 | 主幹 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|   |     |   |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成 29 年 4 月 28 日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ  
五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|          |  |
|----------|--|
| 期 日      | 平成29年 / 月 / 8日 ~ 平成 年 月 日  |
| 参加者氏名    | 五十嵐 庄一   |
| 場所・会場    | 新潟県新発田市新潟県立リウマチセンター  |
| 内容(目的)   | 協力病院「サテライトクリニック体制」の荘内病院の可能性について調査(依託治療等の可能性)   |
| 調査・研修の概要 | (冬期含む) 交通手段の問題、遠距離問題等<br>高額費用負担軽減 等の地元病院での<br>(荘内病院) 依託 <sup>冬期</sup> 治療はできないのか確認調査<br>※ その解答は現在県内13病院からサテライトクリニック体制で患者のニーズに答えていく。荘内病院の受け入れ体制今後における意思・認識に関するもの説明あり!! |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



|    |    |     |    |    |    |    |     |    |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第 12

平成29年1月6日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ

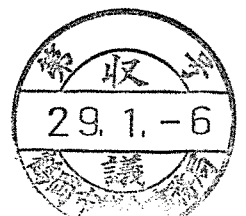
団長 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |  |
|--------|--|
| 期 日    | 平成29年 1月 24日 ~ 平成29年 1月25日   |
| 参加者氏名  | 五十嵐一彦、今野良和、佐藤久樹、佐藤文一、渋谷耕一、本間信一、本間新兵衛、佐藤博幸、神尾 幸、五十嵐庄一   |
| 場所・会場  | 東京都新島村   |
| 内容(目的) | <input type="checkbox"/> 再生エネルギー実証実験「新島モデル」について<br><input type="checkbox"/> 観光振興・水産振興について  |
| 交通手段   | 自家用車・飛行機・ジャンボタクシー  |
| 行 程    | 1/24 (火)<br>庄内空港 (8:40発) → 羽田空港 (9:45着) → 移動 → 調布空港 (12:45発) → 新島空港(13:25着) → 視察研修<br><br>1/25 (水)<br>視察研修 → 新島空港 (15:20発) → 調布空港 (16:00着) → 移動 → 羽田空港 (20:15発) → 庄内空港 (21:15着)<br><br>※ 詳細は別紙のとおり |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
 自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。





平成28年度 鶴岡市議会 新政クラブ 行政視察行程表

| 月日          | 行 程  | 備 考   |
|-------------|--|---|
| 1/24<br>(火) | <p>8:40 9:45/10:15 11:30<br/>庄内空港 ～ 羽田空港 … (移動) … 調布飛行場<br/>[ANA396] [ジャンボタクシー]</p> <p>11:30/12:45 13:25/13:40<br/>… 調布飛行場 ～ 新島空港 … (移動) …<br/>(昼食) [新中央航空 205]</p> <p>14:00～16:00<br/>… 【新島村役場】 … (移動) … 宿舎<br/>(宿舎) 新島村温泉ロッジ ☎04992-5-1199</p>                                   | <p>【新島村視察項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生エネルギー実証実験<br/>新島モデルについて</li> <li>・観光振興について</li> <li>・水産振興について</li> </ul> |
| 1/25<br>(水) | <p>9:00 9:30～11:30 11:30～13:00<br/>宿舎…(移動)… 【新島村役場】 … (移動・昼食)<br/>(現地視察)</p> <p>13:00～14:30 14:50<br/>… 【新島村内施設視察】 … (移動) … 新島空港</p> <p>14:50/15:20 16:00/16:15<br/>… 新島空港 ～ 調布飛行場 … (移動) …<br/>[新中央航空 208] [ジャンボタクシー]</p> <p>17:30/20:15 21:15<br/>… 羽田空港 ～ 庄内空港<br/>[ANA399]</p> |   |

連絡先

・東京都新島村本村 1-1-1 新島村議会事務局 担当 小川 晋

電話：04992-5-0244 FAX：04992-5-1304

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 係 | 係 | 長 | 王 | 倉 | 王 | 幹 | 局 | 長 | 副 | 議 | 長 | 議 | 長 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

様式第13号

平成 29年 2月 15日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ 団長 五十嵐庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|                |  |
|----------------|--|
| 期 日            | 平成 29年 1月 24日 ～ 平成 29年 1月 26日                            |
| 参加者氏名          | 五十嵐一彦、今野良和、佐藤久樹、佐藤文一、渋谷耕一、<br>本間信一、本間新兵衛、佐藤博幸、神尾 幸、五十嵐庄一 |
| 場所・会場          | 東京都新島村   |
| 内容(目的)         | ①再生エネルギー実証実験「新島モデル」について<br>②観光振興・水産振興について                |
| 調査・研修<br>の 概 要 | 別紙報告書の通り   |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



# 鶴岡市議会・新政クラブ行政視察報告

報告者 本間信一

1. 視察日時 平成29年1月25日(水)
2. 視察地 東京都新島村
3. 新島村の位置と地勢と産業

新島は東京から南へ150Km、伊豆下田から南東へ36Kmの位置にある二頭形台地状火山地形の東西3.2Km、南北11.5Km、周囲28.2Kmの火山島である。

島には標高428.5mの宮塚山があり、平地の東と西には、6Kmに及ぶ白砂の海岸が続き西岸の間々下地区では温泉の湧出している場所もあり、東側の羽伏浦は太平洋の荒波が打ち寄せ、国内有数のサーフィン場として知られている

南には向山をはじめ、丹後能戸と山郡が連なり、窯業原料、軽量で耐火のため建材等広範囲に利用されている。世界でも珍しいコーガ石が産出されている。

コーガ石を溶かして作ったガラス(新島ガラス)でガラスアートの制作も行われている。水産業では新鮮な海の幸に恵まれ、トビウオやアオムロアジのすり身の「タタキ」が名物であり、それらを原料とした「くさや」は新島の特産である。

## 4. 視察項目

- ・再生可能エネルギー実証実験「新島モデル」について

### ○事業の概要

離島(東京都新島村)の電力システムを実証フィールドとして、系統運用者による風力発電及び太陽光発電の出力予測、出力制御・抑制、既存電源及び蓄電池等の蓄エネルギーとの協調運用制御等により、再生可能エネルギーを最大限受け入れ可能な系統システムを構築。社会的なコストミニマムとなる最適な設備形成・運用手段を確立するための運用実証実験を実施する。

### ○事業実施体制

- ・事務局：東京電力

委員：・予測技術 ・制御技術・系統技術・電力会社・電気事業の各委員は大学・エネルギー研究所・電力会社などで構成された壮大なプロジェクトチームである。

事業費：年間20億円 平成26年から30年までの5年間総額195億円規模

### ○主な実証設備概要

- ・風力発電設備(阿土山風力発電所) 300kw×2台
- ・太陽光発電設備(大原太陽光発電所) PVパネル 255w出力 1,440枚
- ・系統用蓄電池(東光高岳新島発電所) 蓄電池リチウムイオン電池 500kwh 2台

### ○統合制御システムの開発

・気象予報データ・気象観測データ→再エネ出力予測システム→統合EMS(・需要予測・最適経済需給計画・制御指令)←需要予測→既設発電設備(火力)・蓄エネルギー設備・風力発電設備・太陽光発電設備など既存システムがそれぞれ監視・制御し電力需給の最適化を目指す。

## 5. 所感

NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)電力系統出力変動対応技術研究開発事業(新島モデル)は離島における電力の確保が目的。火力発電は大量の水を使うので海岸側に立地しているが、津波による被害が甚大で電力の確保が困難を極める。それで再生可能エネルギーとの組み合わせを構築しつつ、気象変動に左右されやすい欠点を補い、最適な電源確保を目指す新島モデルは世界の離島で注目されている。この実証実験が実を結ぶことを切に願っている。

## 平成28年度 新政クラブ行政視察報告書

- 1 視察日 平成29年1月25日（水）～26日（木）
- 2 視察先 東京都新島村
- 3 視察内容
  - 新島村観光振興について
  - 新島村水産振興について
  - 再生可能エネルギー実証実験「新島モデル」について
- 4 参加者：五十嵐庄一、佐藤文一、渋谷耕一、今野良和、神尾 幸、佐藤博幸、本間新衛エ、本間信一、五十嵐一彦、佐藤久樹

### 5 視察報告

#### (1) 新島村の現状

新島村は東京都心の南約160kmの太平洋上に位置しており、有人島の新島、式根島、無人島の鵜渡根島、早島、地内島から成り立っている。人口は2,888人（平成27年1月1日）で、温泉、ビーチなどの観光業が盛んな地域だ。

#### (2) 新島村水産振興について

水産業は島の主要産業の一つだが、後継者不足、資源の減少、魚価の低迷等さまざまな要因により、漁業者の収益は芳しくなく、母体である漁協の経営も厳しい状況にある。

27年度の実績を見ると、新島村の一般会計歳出額は44億7,934万円で、そのうちの1億3,729万円を水産振興に支出しており、主に下記の3つの事業を柱にして振興策を実施している。

#### □稚貝・稚魚放流事業

資源の枯渇化により水揚げ量も低迷し、漁業者の収益低迷を招いていることから、資源の増幅を図るために実施。

- ・稚貝放流・・・予算 1,830,000円
  - アワビ 40,000個                      フクトコブシ 30,000個                      サザエ 149,700個
- ・稚魚放流・・・予算 281,000円
  - ヒラメ 2,000尾

#### □後継者育成事業

高齢化や後継者不足による就労者の減少が顕著で、平成21年末比で31%の減少となっている。

島内外を中心とした将来の漁業後継者となりえる小学校から高校生を対象に、漁業体験教室を開催し、漁業の楽しさ、厳しさを含めた魅力も知ってもらい、将来に向けた後継者確保を目的に実施。

- ・予算：400,000円...定置網体験、お魚捌き教室他

#### □補助金事業

- ・水産加工組合への運営補助及びイベント補助・・・予算3,200,000円
- ・にいじま漁業協同組合への貸付け・・・50,000,000万円
- ・サメ被害防除事業・・・予算 750,000円
- ・離島漁業再生支援事業補助金・・・予算 4,896,000円

#### (3) 所感

全国に共通する課題でもある漁業者の高齢化と後継者不足による就労者の減少という課題を抱え、島の主要産業でもある漁業はかなり厳しい状況にあると感じた。

現在の漁協がもともとあった3漁協が将来を見据えて合併したものであるが、組合全体としての統一した姿勢や意見のまとまりがうまくいっていないように感じる。漁協役員、職員の人材不足に大きな原因があるように感じた。

東京都の財政的な支援も手厚いこともあり、自立心が育っていないようにも見受けられた。その中で、特産品の「くさや」についてはその発祥の地ということで、全国的な知名度もあり、島のブランド品として定着しており、大きな強みとなっている。強力なブランド品・特産品を開発、育成していくことの重要性を感じた。

報告者：新政クラブ 五十嵐一彦

## 鶴岡市議会新政クラブ 行政視察報告書

|     |   |
|-----|---|
| 項目  | 東京都新島村の観光・水産振興及び再生エネルギーについて   |
| 日時  | 平成 29 年 1 月 25 (火) から 26 日 (水)  |
| 視察先 | 東京都新島村  |
| 出席者 | 団長 五十嵐 正一    副団長 佐藤 博幸    佐藤 文一    神尾 幸    今野 良和<br>渋谷 耕一    本間 新兵衛    本間 信一    五十嵐 一彦    佐藤 久樹 |

報告者 佐藤 久樹

平成 28 年度 新政クラブ行政視察において、友好盟約都市 東京都新島村で行っている観光振興、水産振興、再生エネルギー実証実験「新島モデル」等へ先屈的に取り組んでいる項目について、現地を視察し、担当者より説明を受けましたので報告します。

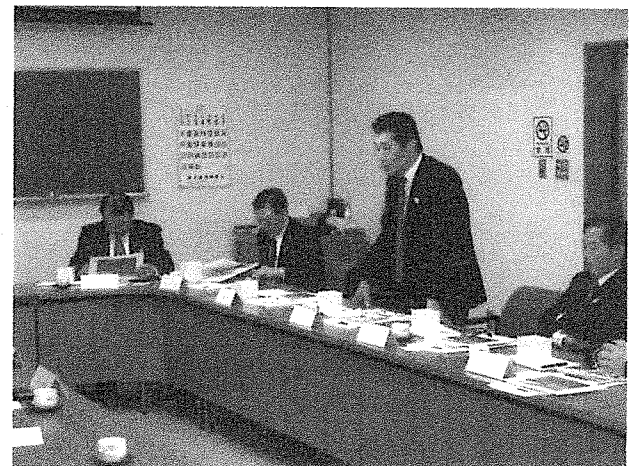
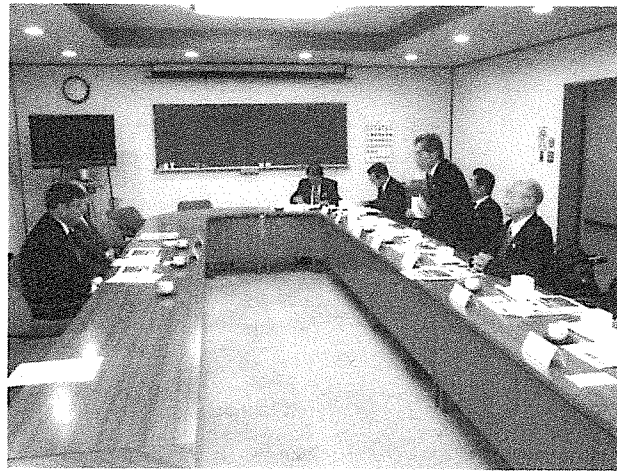
### 視察内容

項目：東京都新島村の観光・水産振興及び再生エネルギーについて  
 前 田 副村長より説明を受けたのち、施設視察を行った。

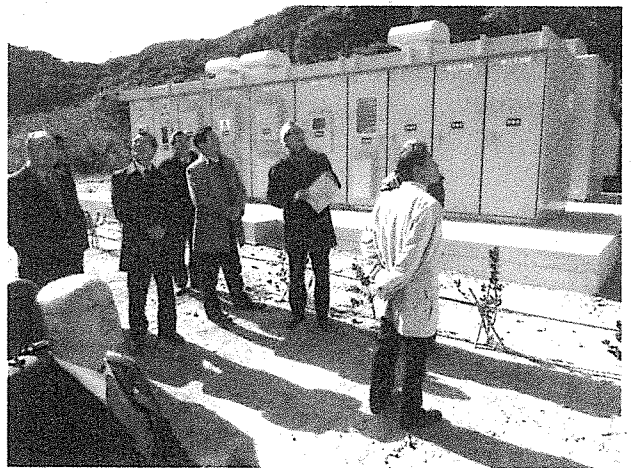
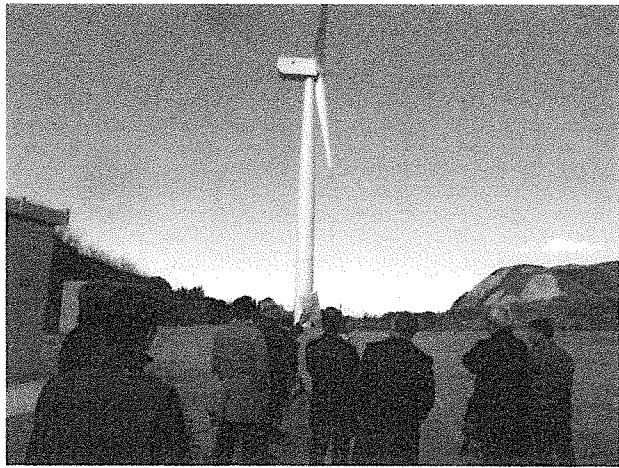
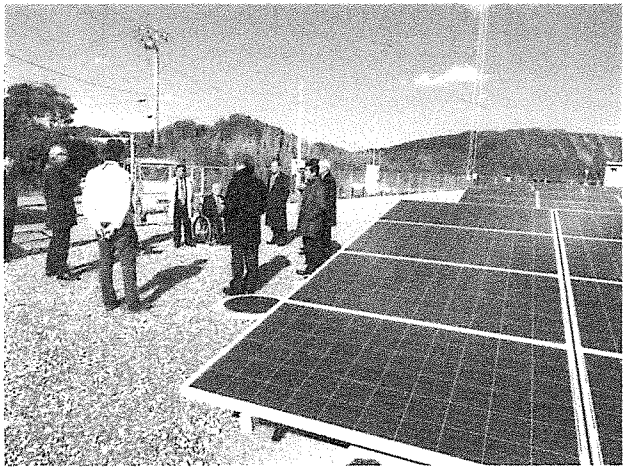
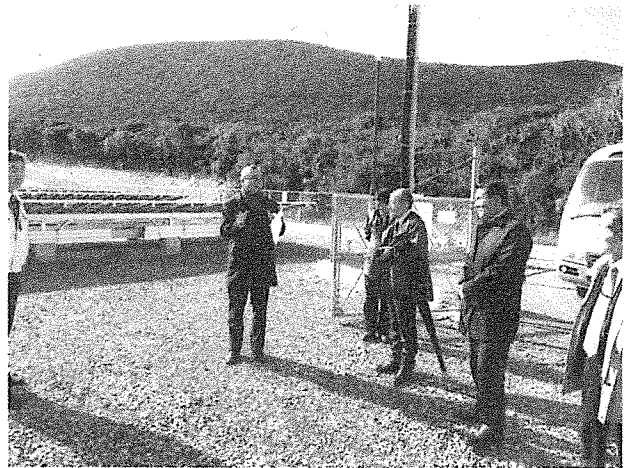
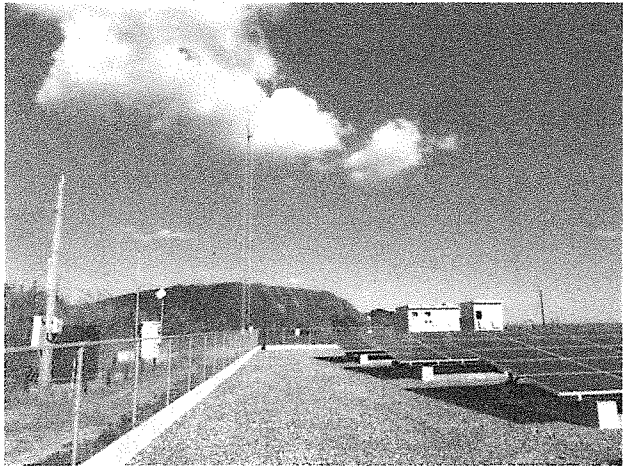
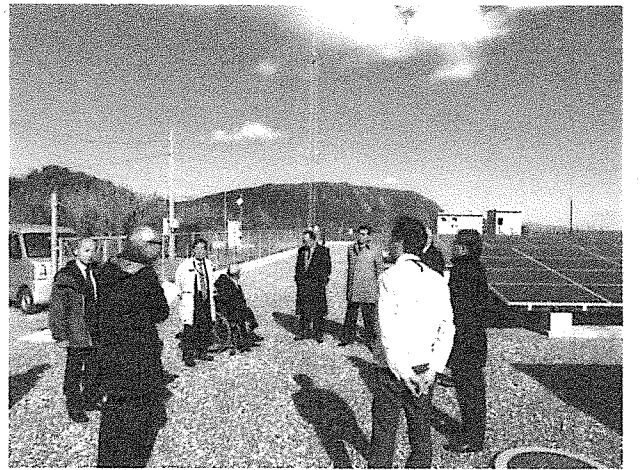
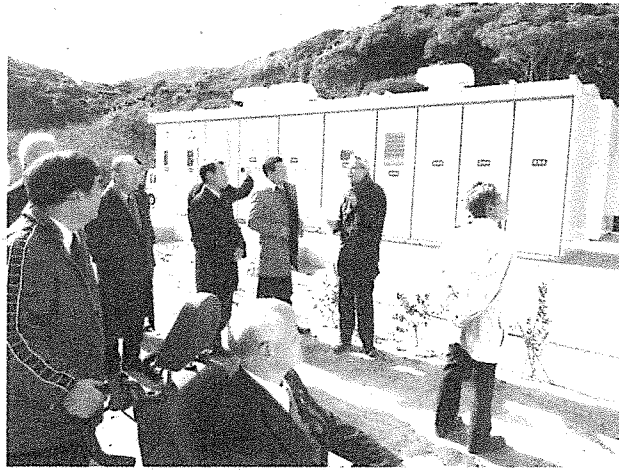
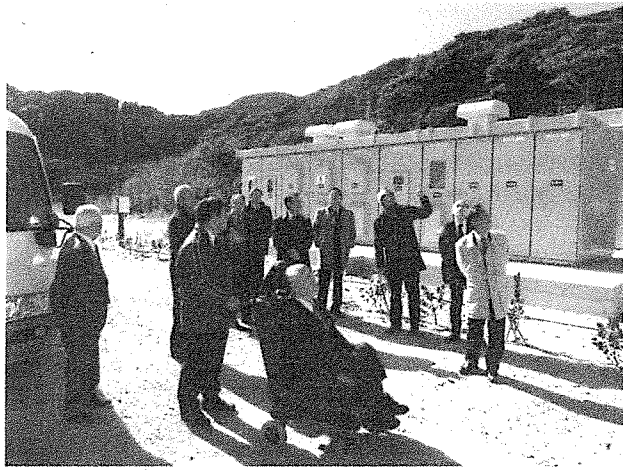
### 説明内容

- 新島村総合計画後期基本計画(平成 23 年 3 月)に基づき、新エネルギー・地球温暖化防止計画の現状と課題より、  
 当村のような自然環境が多く残る地域においては、火力発電による安定的な電力供給と共に、自然エネルギーを活用した発電など、地球環境に優しいエネルギーの開発が可能な地域である。  
 以前、風力発電の可能性を研究したが、実用化に至らなかった経過あり。  
 今後も、風力・太陽光・波力等の自然エネルギーの県境を官民一体となって進めていく必要がある。  
 また、地球温暖化防止対策の観点から CO2 の削減に努める必要があり、カーボンナチュラル・カーボンマイナスへの取り組みが求められている。
  
- 計画の主題として自然エネルギーの開発を掲げ、  
 風力や太陽光など、自然エネルギーの活用に積極的に取り組む。

- カーボンオフセットへの取り組みとして、  
地球温暖化防止活動を住民と行政が協力しながら進める。  
排出量及び吸収量の算定を行い、地域での排出量のみえる化を実施する。  
エコツアーやカーボンオフセットツアーなど、地球温暖化防止活動を通じた
- 「10年後の新島村」の姿として、  
官民が協力した大規模な自然エネルギー(風力・波力・太陽光など)を利用した  
発電施設の研究に取り組む。(カーボンクレジットの創出)
- 自然に優しい村として環境学習や各種ツアーを実施し、エコアイランドとしての  
認知度を高められる。
- 今後の施策として、持続可能エネルギーの活用実験(風力・波力など)  
東京電力・大学など、官民一体となった研究に取り組む。
- 再生エネルギー実証実験「新島モデル」は、風力。
- 新島村では火力をディーゼルエンジンで賄っている。
- 再生エネルギーとディーゼルエンジンで蓄電を行っている。
- 平成 28～30 年で本格的な実証実験を行う。
- ランプ現象(急に電圧が下がる)が確認されている。
- 予算は、195 億円で年 40 億として 5 カ年計画で検討している。
- エコへの取り組みとして、EV 車(電気自動車) 3 台を配置している。
- 再生エネルギーは、防災にも役立つと考える。
- 温泉施設「まました温泉」を村営で行っており、70 歳以上は無料。送迎あり。  
社会福祉協議会へ委託している。







|    |    |     |    |    |    |    |     |    |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成29年1月30日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |  |
|--------|--|
| 期 日    | 平成29年2月10日 (金) ~ 平成29年2月11日 (土)  |
| 参加者氏名  | 五十嵐一彦・菅原一浩・尾形昌彦  |
| 場所・会場  | 東京都千代田区 ふるさと暮らし情報センター・東京<br>東京都千代田区 議員会館<br>東京都江戸川区 タワーホール長堀   |
| 内容(目的) | ふるさと暮らし情報センター見学<br>国会議員との情報交換<br>鶴岡市市政報告会出席  |
| 交通手段   | 自家用車・航空機・電車  |
| 行 程    | 2/10 (金)<br>8:40 ANA396 便 庄内空港発 - 9:45 羽田空港着<br>11:00 ふるさと暮らし情報センター・東京 見学<br>午後 国会議員との情報交換等<br>18:00 鶴岡市市政報告会 (江戸川区)<br>18:30 「新酒の地酒とワインを楽しむ会」(自己負担)<br>2/11 (土)<br>11:15 ANA395 便 羽田空港発 - 12:15 庄内空港着 |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



|   |     |    |    |    |    |     |    |
|---|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 係 | 専門員 | 係長 | 主査 | 主幹 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|   |     |    |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成29年4月28日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|          |  |
|----------|--|
| 期日       | 平成29年2月10日 ～ 平成29年2月11日  |
| 参加者氏名    | 五十嵐 一彦・菅原 一浩・尾形 昌彦   |
| 場所・会場    | 東京都千代田区 ふるさと回帰支援センター<br>東京都千代田区 衆議院第一議員会館<br>東京都江戸川区 タワーホール船堀  |
| 内容(目的)   | 1.ふるさと回帰支援センター見学<br>2.国会議員との情報交換<br>3.鶴岡市市政報告会出席   |
| 調査・研修の概要 | 1.2015年度より大幅に業務拡張されたふるさと回帰支援センター東京オフィスを見学した。有楽町駅前東京交通会館8階のオフィスで代表理事高橋氏・山形県専属相談員伊藤氏よりセンターの概要や役割、全国的な移住に対する相談の状況、山形県内移住希望者における鶴岡市の評判等、詳しい説明を受け、今後の本市移住政策についての参考となった。<br>2.山形県第三選挙区選出の加藤衆議院議員を議員会館内事務所に訪問し、国の最新の施策や高速交通網整備の状況等について、情報を得るとともに、地元からの要望事項等について情報交換を行った。<br>3.今回が初の開催となった首都圏での市政報告会に参加し、前段で開催された榎本市長の市政報告の各事項やその他の事項について、国の省庁関係者・本市進出企業関係者・各ふるさと会・各高校同窓会等、500名を超える方々が参加した懇談会の席上で、主に高速交通網の整備などについて、情報収集及び意見交換を行った。 |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



| 書記 | 主任 | 専門員 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
|    |    |     |    |    |    |    |     |    |

様式第12号

平成29年2月15日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |  |
|--------|--|
| 期日     | 平成29年 2月16日 ~ 平成29年 2月18日                                    |
| 参加者氏名  | 菅原 一浩  |
| 場所・会場  | 東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通りハタビル<br>アットビジネスセンター東京駅八重洲通り             |
| 内容(目的) | ・ 公共施設の再編問題とコンパクトシティ<br>・ 地域包括ケア特別講座 以上の地方議員研究会講座受講          |
| 交通手段   | ・ JR   |
| 行程     | 鶴岡市・・・東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通りハタビル<br>アットビジネスセンター東京駅八重洲通り・・・鶴岡市 |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



|    |    |    |    |    |    |     |    |
|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記 | 主任 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議員 |
|    |    |    |    |    |    |     |    |

様式第13号

平成29年2月21日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|          |  |
|----------|--|
| 期日       | 平成29年2月16日 ～ 平成29年2月18日  |
| 参加者氏名    | 菅原 一浩  |
| 場所・会場    | 東京都中央区八丁堀1-9-8 八重洲通りハタビル<br>アットビジネスセンター東京駅八重洲通り  |
| 内容(目的)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の再編問題とコンパクトシティ</li> <li>・地域包括ケア特別講座 以上の地方議員研究会講座受講</li> </ul>  |
| 調査・研修の概要 | <p>上記の二つの講座を下記の内容で受講した。</p> <p>1. 公共施設の再編問題とコンパクトシティ<br/>公共施設再編及びコンパクトシティ推進について、先進自治体の事例を紹介しながら「自治の空間」としての公共施設の活用方策について、立命館大学政策科学部教授、森裕之氏を講師として受講した。</p> <p>2. 地域包括ケア特別講座<br/>地域福祉政策について前半では地方議員がいま取り組むべき課題について、後半では課題に対応した施策について、かながわ福祉サービス振興会理事長、瀬戸恒彦氏を講師として受講した。</p> <p>詳細資料については、受講者保管</p> |

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



|       |    |    |    |    |    |    |     |    |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 書記    | 主任 | 専任 | 係長 | 主査 | 次長 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|       |    |    |    |    |    |    |     |    |
| 様式第1号 |    |    |    |    |    |    |     |    |

平成 29年 3月15日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ

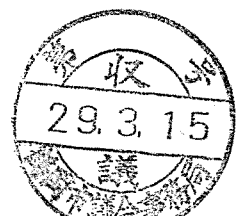
五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

|        |   |
|--------|---|
| 期 日    | 平成 29年 3月 28日 ~ 平成 29年 3月 29日   |
| 参加者氏名  | 五十嵐一彦、小野寺佳克、本間信一  |
| 場所・会場  | 東京都中央区八丁堀 1-9-8<br>アットビジネスセンター東京駅八重洲通り  |
| 内容(目的) | 地方議員セミナー<br>3月28日：①議会活性化のノウハウ<br>②防災・減災の取組み<br>3月29日：③教育革命のために議員ができること  |
| 交通手段   | 自家用車・JR・飛行機・レンタカー   |
| 行 程    | 3/28 庄内空港 7:10 発 → 羽田空港 (8:15 着) → 電車で移動<br>八丁堀駅 → セミナー会場 → ホテル<br><br>3/29 ホテル → セミナー会場 → 電車で移動<br><br>羽田空港 (15:55 発) → 庄内空港 (16:55 着) |

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



|   |     |    |    |    |    |     |    |
|---|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 係 | 専門員 | 係長 | 主査 | 主幹 | 局長 | 副議長 | 議長 |
|   |     |    |    |    |    |     |    |

平成29年4月28日

鶴岡市議会議員様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ

団長 五十嵐庄一

### 政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

|              |  |
|--------------|--|
| 期 日          | 平成29年3月28日 ～ 平成29年3月29日  |
| 参加者氏名        | 本間信一、小野寺佳克、五十嵐一彦   |
| 場所・会場        | 東京都中央区八丁堀 1-9-8<br>アットビジネスセンター東京駅八重洲通り   |
| 内容(目的)       | 地方議員セミナー<br>3月28日：①議会活性化のノウハウ<br>②防災・減災の取組み<br>3月29日：③教育革命のために議員ができること   |
| 調査・研修<br>の概要 | <p>講師：樋渡啓介（総務省・元佐賀県武雄市長）</p> <p>3/28 10:00～12:30 ①「議会活性化のノウハウ」<br/>13:30～16:00 ②「防災・減災の取組」</p> <p>3/29 10:00～12:30 ③「教育革命のために議員ができること」</p> <p>講師の樋渡啓介氏は、佐賀県武雄市長時代に、市立病院の民営化、SNSの行政での活用、東日本大震災を機に危機管理体制への取組、タブレット端末を教育現場に導入、武雄図書館リニューアルを民間企業のツタヤに任せる（ツタヤ図書館）など、民間企業の力を導入した思い切った政策を実施してきた経験がある。</p> <p>実体験を踏まえた研修内容は、具体的・実践的で、行政と議会の在り方など、今後の議会運営や議員活動の参考になる、貴重な研修内容だった。</p> <p>特に防災・減災の取組での「受援計画」の必要性についての講義は、具体的・実践的な内容で大いに参考になった。</p> |

